

本校研究主題

自ら学ぶ児童の育成

～思考力・判断力・表現力・発信力を高める NIE の取組を通して～

府中中学校区研究主題

志をもち未来をデザインする学びの創造

～探究的な学習のさらなる充実を目指して～

Ⅰ 研究主題設定の理由

本校では、思考力・判断力・表現力・発信力を高めるためのNIEに取り組み始めて3年目となる。総合的な学習の時間や生活科、また週に一度の NIE タイムを通して新聞を活用してきた。昨年度は、総合的な学習の時間における自分探究の時間において「記事を読む→自分の考えを書く（他の考えの予想もする）→友達と考えを共有する→考えの再構築→ふりかえり」という流れで授業を行うことで、記事を読み、他者の考えも考慮に入れながら自分の考えをもつことができるようになってきた。また、全学年「スクラップノート」に定期的に取り組み、関心のある記事を選んだり、そこから考えたことを書いたりすることができるようになった。児童アンケートの結果からも、思考力、判断力、表現力、発信力の高まりを感じている児童が約80%おり、NIEを通して思考力、判断力、表現力、発信力を高めることができることが分かってきた。しかし、児童アンケートの結果から、発信力の高まりとは何かについて、また、発信力を高めるための授業の工夫について研究を深めるには至らなかった。

そこで今年度は、思考力、判断力、表現力、発信力の中で特に発信力に焦点を当てて研究に取り組んでいくとともに昨年まで行っていた授業の流れとスクラップノート作りを継続して行っていく。また、昨年度の課題を踏まえ、児童が自分の考えを他者に伝える経験を段階的に積み重ねていくことができるよう、発信する相手を意識した学習活動の充実を図るため、本研究主題を設定した。

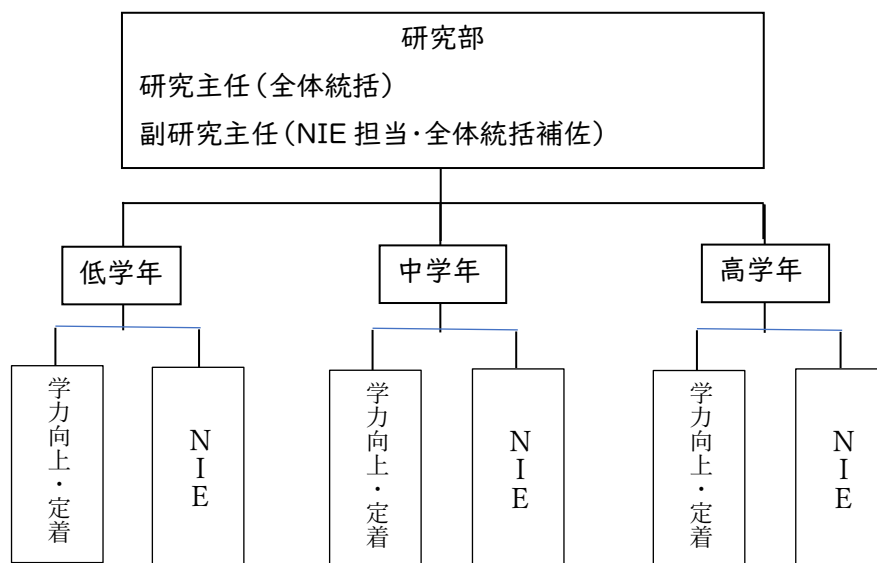
2 自ら学ぶ児童とは

本校では、自ら学ぶ児童を「思考力・判断力・表現力・発信力をもち、主体的に学ぶ児童」とする。具体的な姿としては、探究課題に対して、効果的な手段を選択しながら調べたり考えたりしたことを基に表現し、対象に発信することを通して自分なりの問いの答えを見つけようとすることができる児童である。

3 研究仮説

NIEを取り入れ、思考や判断が必要となる授業開発を進めるとともに、目的や意図に応じた表現内容や方法の充実を図り、主体的に学ぶ力や、思考力・判断力・表現力・発信力を向上させれば、自ら学ぶ児童を育成することができるであろう。

4 研究体制



5 研究内容

発信力を高めるために、発信する相手を次のように提示し、表現活動を児童と共に位置付けることとする。発信する相手とは、ペア(隣の席など近くにいる相手に自分の考えを伝える)、グループ(少人数で交流する)、学級全体(学級全体に向けて自分の考えを発表する)、校内の人(他学年や他学級など校内の人に向けて発信する)、校外の人や団体等(地域の方や外部の人など校外に向けて発信する)を考えている。このように、発信する対象を明確にし、発信する対象を意図した取組や活動を行うことで発信力を高めたり、発信する対象によって内容や表現の方法を考えることで思考力・表現力を高めたりできると考える。

さらに、教員の NIE の取組に対する意欲の高まりや授業力向上を図るために教員アンケートを実施したり、実践報告書（一人一枚）を作成したりする。また、月に1回のミニ研修では、日頃の実践報告を行ったり、教員が気になった記事や学年に合った記事の交流を行う。

- ・思考力等を高める場の充実（NIE ワークシート・新聞スクラップ・新聞記録カード等）
- ・思考力等を高める授業の工夫（研究授業・授業実践報告書）
- ・学びをつなげるカリキュラムマネジメントの更新及び活用
- ・対象を明確にした発信の取組の充実
- ・外部講師による理論・授業研修
- ・学び方の充実（個に応じた手立ての充実・活用、習熟度別のプリント等）
- ・基礎学力の定着（帯タイムの充実）
- ・府中中学校区での9年間の学びの質を深める取組

6 検証の指標

検証の視点	方法	達成目標
① NIEの取組に対する意欲と発信力の高まり	北小アンケート(NIE)	肯定的評価 70%以上
② 思考力・判断力・表現力の育成	北小プリント(NIE)	8割を超える児童の割合 70%以上
③ 基礎学力の定着	単元ごとのまとめテスト 標準学力調査	8割を超える児童の割合 知識・技能(80%以上) 全学年全国平均以上
④ 発信力を高めるための授業の工夫 (教師の授業力を高める)	全体研修 初任者研修との連携	全員一授業提案・報告(NIE)
⑤ 教員の指導力の高まり	教員アンケート(NIE)	肯定的評価 60%以上

7 年間研修計画

時 期	内 容	備 考
4月2日(水)	校内研修(研究主題、研究内容、検証指標、全体計画、校内取組体制、評価等、年間の研究授業について)	
4月6日(月)	校内研修 ・これまでの研究の取組について(NIE 理論) ・スクラップノートについて ・交流の仕方について ・NIE ワークシートについて	
4月中旬	授業者決定(低・中・高学年・みどりから1名ずつ)	
5月上旬	校内研修 研究授業① ・研究主題に沿った今年度の指導案形式提案 ・研究主題に沿った授業づくり検討	
5月下旬	・全国大会について ・日々の実践報告	
6月下旬	・全国学力テストの分析 ・全国大会について ・日々の実践報告	
7月上旬	第1回 児童アンケート実施	
7月上旬	・全国大会について	
7月31日	第31回 NIE 全国大会広島大会 研究授業②〈第6学年教諭〉	講師招聘
夏季休業中	校内研修 児童アンケートの分析	
夏季休業中	校内研修 ・指導案作成→検討	
夏季休業中	校内研修 ・2学期の取組の確認	
9月下旬	・日々の実践報告	
10月下旬	・日々の実践報告 ・指導案検討	
11月中旬	府中中学校区公開研究会 校内研修 研究授業③ 校内研修 研究授業④	講師招聘

12月中旬	第2回 児童アンケート実施	
12月中旬	標準学力調査(国語・算数)	
冬季休業中	校内研修 ・児童アンケートの分析 ・2学期の取組の振り返り	
2月中旬	校内研修 ・標準学力調査 結果分析	
2月下旬	研究のまとめ	
3月上旬	来年度に向けて	
未定	校内研修 研究授業⑤	

〈NIEで付けたい4つの力〉

各授業実践や報告書作成の際に、それぞれの教科に応じて加筆・修正して使用する。

	低学年	中学年	高学年
思考力	新聞をもとに自分なりに考えることができる。	新聞をもとに友達の考えと比べながら自分なりに考えることができる。	新聞をもとに自分なりに友達の考えと比べたり自分の経験を振り返ったりしながら考えることができる。
判断力	新聞をもとに自分の興味関心があるものを見つける。	新聞から根拠をもとに自分の考えを選ぶ。	新聞から目的や意図に応じて根拠をもとに自分の考えを選ぶ。
表現力	目的に応じて自分の考えを表現する。	目的に応じて根拠をもとに自分の考えを表現する。	目的に応じて根拠をもとにしたり比較したりしながら自分の考えを表現する。
発信力	相手に応じて学んだことや考えたことを伝える。	相手に応じて学んだことや考えたことを伝え方を工夫して伝える。	相手に応じて学んだことや考えたことを伝え方を工夫して分かりやすく伝える。